

自主セミナー

先生方のための「命（いのち）の話」

命の重みについて、あなたは子どもたちに語れますか？

後を絶たない子どものいじめや自殺…。

今こそ命の尊さを子どもたちに伝えなくては…。

そのためには、まず教師が命の重みについてじっくり考える機会が必要です。

講師自身の経験をもとに、かけがえのない命について一緒に考える講座です。

教職にある人、教職を目指す人、ぜひご参加ください！

*当日の参加も受け付けます。

期日：平成 26 年 10 月 29 日（水）18:30～20:00

会場：学校教育実践研究センター セミナー室 1

講師：十日町市立田沢小学校 前校長

渡邊 雅之 先生

**渡邊雅之 先生**

十日町市出身。新潟県の小学校教員として勤務。平成14年4月より中郷村立片貝小学校校長。平成17年1月、市町村合併により上越市立片貝小学校に名称変更。この頃より体調に異変を感じ始める。平成18年4月、十日町市立仙田小学校に転勤。直後に骨髄異形成症候群と診断される。同年6月、急性骨髄性白血病に転化。入院を余儀なくされる。9月に骨髄移植、翌年1月にリンパ球を注入するも重大な肝障害を起こし、命の危機に瀕する。4月に2度にわたる手術を行い、6月に退院。その後、2年間の自宅療養を経て、平成20年4月に小千谷市立岩沢小学校校長として復職。平成23年4月より十日町市立田沢小学校校長。平成26年3月末に定年退職。

専門は社会科。病気を経験して以来、道徳「命の教育」に力を注ぐ。各地の学校、PTA講演会などで「いのちの話」と題して自らの壮絶な経験を語り、命の尊さ、生きることの意味、人と人との絆の大切さを訴え、多くの人々に深い感銘と生きる勇気を与え続けている。平成25年には「いのちの話」をもとに子どもたちが書いた作文が、骨髄バンクサポート新潟の募集する作文コンクールに多数入賞し、学校賞を受賞している。

参加のお申込みやセミナーの詳細については学校教育実践研究センターHPへ！

<http://www.educ.juen.ac.jp> または⇒

はじめての方はホームページ上の登録はこちらをクリックしてください。



各お問い合わせ先

TEL:025-525-9147 / FAX:025-525-9860 / Email:infoeduc@juen.ac.jp